

小呂野通信

令和7年7月号 (第43号)

発行日 2025.7.8(火)

〒041-0806

函館市美原5丁目31番10号



(土壌の水素イオン指数に影響されず、何色にも染まらない白アジサイ。国際ホテル前にて 2025.7.5(土))

「十年ひと昔」みなさんもお存じの通り、世の中は移り変わりが激しく、十年も経つと昔のここのように感じられる。という意味のことわざです。

自分の人生を振り返って、“あの頃、やっておけばよかった…”という想いは、きっと誰しも、いくつかはあるのではないのでしょうか。(私には、いくつもあります。)

法人設立 15 年目を迎え、1 年の半が過ぎました。

今、私たちは、これまでの取り組みで蓄積してきたものをまとめる作業に取り掛かり、その中で、発足当時からの多くの人との出逢いや、小さな実践の継続によって、“今がある”のだということを、痛感しています。

本当に沢山の応援、サポートをいただきありがとうございます。

まわりを見渡す余裕もないくらい、がむしゃらに、ハッチャキ走り続けるのではなく、日一日の出逢い、想いを大切に振り返りながら、趣味や余暇についても、できる範囲で楽しめるように、工夫しながら取り組んで参ります。

時代と共に変わっていくモノゴト。変えていかなければならないモノゴトもありますが、“誰かにとって”ではなくて、“ひとりひとりがよりよく生きられる”をカタチにしたという私たちの想いは変わりません。

ちょこっと一息。じっくり話しをするために。色んなカタチで、みなさんの集いの場になれるように、“ほがらかに…”をテーマに、スタッフ一同、お待ちしております。

暑い夏、みなさんと共にアツイ想いを共にできると幸いです。

理事長 湯浅 弥

副理事長 小西 真帆

前回通信発行以降

参加・活動報告

毎週（火）2024 後期課程

教育大学函館校「更生保護」

毎週（月）2025 前期課程

教育大学函館校

「ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ」

毎週（水）函館高専 SSW

健康マージャン 2/25、3/4・11・25、
4/1・8・22、5/13・20・27、6/3・10
・17、7/1 いずれも（火）

2025 年

1/11（土）～12（日）

成年後見人材育成研修

1/13（月）成年後見人名簿登録研修 講師

1/16（木）第三者委員会

1/20（月）成年後見事例検討会

1/21（火）北海道社会福祉学会

1/23（木）第 14 回小呂野塾『事例検討』

1/28（火）道南地区支部定例学習会

1/31（金）有識者会議

2/6（木）第三者委員会

2/7（金）ぱあとなあ

後見報告書新様式意見交換会

2/12（水）司法と福祉の連携勉強会

2/28（金）道南地区支部定例学習会

3/4（火）第三者委員会

3/11（火）調停研修 講師 「話を聴く」

3/26（水）道南地区支部定例学習会

4/21（月）成年後見事例検討会

5/14（水）司法と福祉連携勉強会

5/19（月）小呂野 2025 年度第 1 回理事会

5/22（木）モルック練習会

5/24（土）

北海道精神保健福祉士協会全道大会

5/30（金）第 15 回小呂野通常総会

6/12（木）モルック練習会

6/20（金）道南地区支部全体会・定例学
習会「任意代理契約について」

6/21（土）令和 7 年度コロポックル

全道交流会・職員研修会 講師

「私たちは なぜ支援するのか？」

－それぞれの経験を振り返り－

第 15 回通常総会開催

第 15 回通常総会。今年は、オープン再開予定のカフェ小呂野を会場に、スタッフに加え理事 3 名、会員 1 名の直接参加、15 名の委任参加を以て開催。議長による総会成立の宣言の後、4 つの議案の提案と討議が行われました。

討議の中では、出席者から貴重な意見をたくさん頂きました。

なかでも、法人運営にあたって理事長が語るビジョンをスタッフが共有し得ていないことの指摘、スタッフの位置づけや経験に基づく役割がなされていないのではないか、法人のあり方について、一人一人がどのような思いを持つのが見えない等の小呂野のあり方についてのご意見。また、これまでの 14 年間で取り組んできた実践の積み重ねをまとめ、それを言語化し、社会に発信していく必要があるという小呂野の取り組み課題についてのご意見は、厳しいながらも胸に響くものがありました。

頂いたご意見を受けスタッフ一人一人が法人運営についての思いを語り、また、出席した参加者からは心強いエールも頂きました。

議案はいずれも承認、小呂野の 2025 年度がスタートしました。

Mölkky（モルック）を一緒にやってみませんか？

モルックはフィンランドの伝統的な「kyykkä（キイッカ）」というゲームを元に開発され、木の棒（モルック）を投げて数字が書いてある木の棒（スキットル）を倒し 50 点を目指すだけの年齢や健康状態に関わらず老若男女誰でも一緒に楽しめる手軽なスポーツです（計算が得意になります）。

先日行われた「日本モルック選手権大会 2025」（上位 3 名が日本代表としてポーランドで行われる国別対抗戦に参加）に北海道・東北地区代表として道南から 4 名が選ばれており、その内の 1 名は惜しくも 4 位と、今まさに注目のスポーツとなっています。

小呂野でもチームを作ってそんな強者達も参加する函館の大会に参加するため、チームメンバーを募集し（2～4 名で 1 チーム）、6 月～8 月の第 2・第 4 木曜日 17 時 30 分より小呂野駐車場で練習を行っています。（雨天などの中止や練習場所の変更はホームページに載せます）興味のある方は下記へお気軽にご連絡下さい。

当日飛入り大歓迎です。

E-mail : wy1125@beige.plala.or.jp

電話 : 0138-83-8471

モルック担当 前川智也



今年度の活動予定など

民商まつり

今年度は「NPOまつり」(まちづくりセンター)へは参加を見合わせ、「民商まつり」へ参加をします。

「NPOまつり」では、これまで、本や雑貨・衣類を販売してきましたが、

「民商まつり」では、ハンドメイドの「アクリルたわし」なども販売予定。

現在、その製作作業が進んでいます。開催日・会場は以下の通りです。

たくさんの民商会員の展示、キッチンカーの出店もあるようです。

- ・開催日 2025年10月5日(日) ※時間は追ってお知らせします。
- ・会場 多世代交流センターコンテ日吉 函館市日吉町4丁目16-21
- ・主催 函館民主商工会



りんご収穫体験



今年もやります！

恒例となったりんご収穫体験。10/25(土)の開催に向けて、今年も富原果樹園で、「小呂野の樹」を申し込みました。

今シーズンの木の状態は、昨年から続く暑さが影響し、花付きは少し少ないとのこと。でも、収穫量(数)は少なくとも、“甘さ”“おいしさ”は間違いないですよ！と果樹園の方が話されていました。

これからの天気次第ですが、少しでも実の数が増えることを祈っています。

収穫後の企画についてなど、追ってホームページ等でご案内します。今からご予約ください。

小呂野塾について

昨年度は、「継続は力」をモットーに、小規模ながら小呂野塾を計14回開催、内部・外部講師による講義や、事例検討、本の読み合わせ、映画・ビデオ鑑賞など、幅広く学びの機会を皆さんと共有しました。今年度は、大きな会場で、会員外の市民や専門職などに向けた拡大小呂野塾も構想中。昨年、精神保健福祉士協会とのコラボ企画として、多くの参加を得た小呂野塾を開催しましたが、今年度、過去にも活用した北海道新聞社の福祉事業助成基金への申請も行っています(7月中旬に申請結果が出る予定)。会員の皆さまはもとより、小呂野ならではの学びの機会を広く呼びかけていきます。

カフェ小呂野 オープンに向けて

昨年来、再開を検討しているカフェ。保健所の許可をクリアし、店舗内のレイアウトを整えて、メニューの試作品づくりなどを続けています。

小呂野の理念の実現は、福祉支援ばかりではなく、交流事業や自己実現の機会の提供も含まれ、カフェをそうした位置づけで、障害者雇用や、市内で豆を焙煎・販売をしている専門店とコラボした企画など、交流の場としてカフェ小呂野ならではの展開を練っています。

そこで、今月、「〇〇の日」と銘打った以下のプレ企画を実施します。

会員の皆さまぜひ足をお運びください。

- ・7月16日(水) 15:00~17:00 第1弾「**シークレット!?** 企画」

何の日かは当日来てのお楽しみ！

- ・7月30日(水) 15:00~17:00 第2弾「**スイカの日**」

暑い夏の午後冷えたスイカで涼を！ お待ちしています！！



なぜか今、新聞やTV、ネットで「面白い！」と評判になっている
有吉佐和子の連作短編小説。さくらさんからこのことを聴いて早速
文庫本を購入し読みました。発表されたのが1976（昭和51）年。

当時、私は中学生。ロッキード事件が発覚して連日報道されたり、
授業中、ソ連の戦闘機ミグ25が函館空港に強硬着陸したり…。でも
中学生の関心はピンクレディーやキャンディーズでした。親や祖母
からは戦中・戦後のことが話の端にのぼった時代ですが、「消費が美德」
とされた経済成長の真ただ中（すでに翳りがありました）で、
私にとって戦争は遠い歴史上の出来事でした。でも、今考え直すと
わずか25年程前のこと。周囲には、戦争の名残がたくさんあった。
この小説を読むとそんなことが当時の大人の社会では当り前の日常
でもあったことがわかります。そして、当時の社会の価値観を随所
で感じられます。今、現役で活躍する60代70代は、老いが顕著で
ひ弱な描写、性役割も想像以上に戦前の価値を引きずっていた時代
だったとリアルに認識させられ、当時の自分と見えていた景色を振
り返り読みました。小説の中身は、無名の陶芸家の秀作となる青い
壺がいろいろな人の手に渡って、いろいろな人の人生に影響をあたえ、
最後には…という内容。多くの意味で読み応えがある小説です。

（カンイチ）

ーオススの本ー

『青い壺（つぼ）』有吉佐和子著
（文春文庫）



編集後記

「7月5日大災害」の予言に、トカラ列島の頻
発地震が真実味を添え、気象庁は連日会見の中で
現在の科学ではそうした予測は立たず、根拠のな
い「デマ」と注意喚起を重ねました。SNSに広
がる噂話やフェイクニュースなど、事実を歪める
情報に踊らされないことは大切です。翻って、日
常業務の中で、「…ではないか？」「…に違いない」
など、ステレオタイプの見立てや経験値による判
断や発言にはとくに注意が必要で、事実や根拠に
基づく大切さをあらためて肝に銘じています。

地震頻発の当地では、日に百回を超える揺れが
報道されています。台風予報もあり、避難できず
暮らす人たちの不安や心身不調を案ずる思いで
す。

函館も猛暑到来の様相。

皆さまの息災を祈っています。（か）

会費納入のお願い

すでに今年度の会費を入金くださった方もい
らっしゃいますが、2025年度の会費納入用
紙を今回同封しています。

法人活動は、事業収入のほか、皆さまからの会費に
支えられています。

法人理念の実現には、多くの皆さまのご協力が必要
です。どうぞよろしくお願いいたします！

年会費

正会員 一口 2,000円

賛助会員 一口 1,000円

寄付金 随時受付中

（法人定款 附則6）

炎暑酷暑のみぎり、皆さまのご健勝とご自愛をお
祈り申し上げます…。先日、綺麗な小麦色の肌をし
たご主人のおトモダチが、みずみずしい真っ白な大
根と、ツヤツヤのみどり色がまぶしいスナップえん
どうを抱いて、遊びにきてくれました。たっぷり太
陽の下で育った野菜のみずみずしさといったらも
う、言葉にできない美味しさでした。

別の日には、小呂野の取り組みに活用できたら…と
車の荷台いっぱい日用品を提供してくださったお
トモダチの来所もありました。

沢山のサポートをありがとうございます！ しま



〒041-0806

函館市美原5丁目31-10

TEL 0138-83-8471

FAX 0138-83-8472

MAIL simasakura1@gmail.com



特定非営利活動法人 小呂野

ゆあさ社会福祉士事務所

湯浅 弥 湯浅 留美

湯浅 しま 高橋 鑑一

宇美 隆浩 前川 智也

小西 真帆